

令和5年11月15日発行

第86号 全戸配布用



発行：太子堂連合町会
ミニコミ紙編集委員会
事務局：太子堂
まちづくりセンター
電話：03-5787-6368



私も、宵宮よりお神酒所にて、お囃子の演奏をさせて頂きました。人々に福を振りまく、おかめ、ひよつとこ、邪気払いをする獅子。獅子に頭を噛んで貰い効強が出来るようとにかく、痛いところを噛んで病氣平癒等、人々の思いは様々！樂しんで頂けた事と思います。

この様な笑顔や光景は昔から変わらないだろうなあ。更に頭を噛んで貰つた人や、道化さんにお祓いを受けた人が、本当に幸せになると良いなあ。様々な思いを込めて笛を吹かせていただき、秋の日を楽しみました。

今年は早い時期からお祭り復活の声を聞き、待ちに待った祭礼。天候にも恵まれ、楽しまれたのは私だけでは無いと思います。

久しぶりに御神輿が町内に戻つて参りました。町は活気付き人々は笑顔でいっぱい見ていいだけでも嬉しい物があります。

太子堂八幡神社例祭
太子堂連合町会
会長 堀江 鉄菰

わが街で100年続く お店シリーズ⑩

陶器店 田中屋陶苑

A large, colorful ceramic figure of a person wearing a wide-brimmed hat, standing in a shop.

Two blue and white polka-dot ceramic containers with handles.

当日は会場設営や各コーナーのスタッフとして太子堂小学校 P.T.A.の方々が地域の一員として活躍されました。さらに小学校 6 年生が各コーナーのスタッフとして一生懸命手云々をして、地域の

めったに見かけない薬壜、陶製の植木鉢、特大サイズの有田焼の土瓶などが並び金魚鉢は2年前から入荷のない状況。

斜陽な業種であることは間違いないが常連さんが求めてきてくれるんですよ。「やつてくれてありがとう」と言われる時が一番嬉しい。猫柄の急須が千円を切るなど、掘り出し物に会える店だ。

大正のはじめ旅館を廃業し、蕎麦屋や銀行員になる兄弟がいる中、現在の店主である堀江幸男さんのお祖父様が陶器屋さんを始めた。

お祖父様のあとは、嫁にいらしたお母様が経営。お母様が倒れられてご自身が継いだ。「長男だし助けるのが当たり前だと思っていた」堀江さんは、東急のホテルでコックをしていたが、一念発起。現在に至っている。

神様の山として信仰されており、現在でも大山参りをする人たちで賑わっている。

300年前江戸時代には、信楽、角屋、とともに三軒茶屋の由来にもなった大山街道の旅籠（お茶屋）の一つだった田中屋。

大山街道とは、東京・赤坂と神奈川県・大山を結ぶ道として、古くから多くの人に使われてきた街道で、現在の国道246号に沿う。

大山は昔から雨を降らせる雨乞いの

会、青少年地区委員、小学校・中学校PTAの役員、お祭り委員、事務局のまちづくりセンターなどと実行委員会を重ね、今回の開催となりました。

当日は天候にも恵まれて、太子堂中学吹奏楽部の演奏、太子堂西山囃子の披露、盆踊り（太子堂音頭、東京音頭、など）が行われ、来場者は小学生（幼児を含む）611人などスタッフを含めて1428人という、たくさんの方の参加がありました。

ジョンでの開催ができませんでしたが、今年度は4年前と同じように、焼きそば、フランクフルト、ヨーヨー釣り、スケートボーリングすくい、ポップコーン、ソーフトドリンク、中学生ゲームコーナー、緑陰子供会などの各コーナー全てが揃つた「太子堂ふれあいまつり」が開催されました。

青少年太子堂地区委員会



第57回 太子堂ふれあいまつり

たちの健全育成を目的として、地域と触れあう機会を作り、子どもたちが成長したら地域のために貢献して頂けるよう二、三の工夫も活動してまいります。

セルフケアのすすめ

地球温暖化の影響で、日本から四季が無くなり、二季になるのではないか？遠くない将来にそういった事態になるのではないかと予測されています。

春夏秋冬は日本ならではの気候。お花見、夏祭り、紅葉狩り、雪景色など季節ごとの景色も変わつていつてしまふのでしょうか。

そういうえば世田谷のたまがわ花火大会も夏のゲリラ豪雨を避けて秋の開催になつたのも記憶に新しいところです。